

第8回富山駅周辺整備事業推進協議会 議事録

日 時：平成23年6月7日（火） 13：30～

場 所：富山県民会館 401号室

○次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶（富山市神田副市長）
- 3 議 事
 - 1）「第7回推進協議会における主な意見と対応方針について」 [資料－1]
 - 2）「富山駅駅前広場・交通広場計画の再検討結果について」 [資料－2]
 - 3）「駅舎デザインについて」 [資料－3]
 - 4）「富山駅高架下自由通路における空間づくりの方向性について」 [資料－4]
- 4 その他
- 5 閉 会

○出席委員

黒川委員、森委員、中川委員、犬島委員、本江委員（中尾委員の代理）、白倉委員、小井委員、小竹委員、日吉委員（吉田委員の代理）、土田委員（開口委員の代理）、柴田委員（牧田委員の代理）、茅委員、藤縄委員（奥井委員の代理）、土肥委員、神田委員、辻川委員

○挨拶（富山市）

本日は第8回目となりました富山駅周辺整備事業推進協議会に、皆様お忙しい中ご参加いただき、大変ありがとうございます。日頃、皆様方におかれましては富山駅周辺地区整備事業に格別のご支援をいただき、この場をお借りしまして深くお礼申し上げます。次第であります。

富山駅周辺整備については、北陸新幹線の着工率は100%と整備も進み、在来線の連続立体交差事業も5月22日に着工され、一体的な整備も進みまちづくりも佳境に入っており、厚く御礼を申し上げます。富山駅周辺地区土地区画整備事業については、昨年12月に富山駅南口の仮駅舎前において、仮広場の供用を開始し、バス、タクシー乗り場の移転も行っており、今年度以降も、建築物の移転や都市計画道路の整備を行い、南口の整備を進めてまいる所存であります。

本日は、駅前広場の配置計画、駅舎デザイン、自由通路における空間づくりの方向性について審議していただきたいと思っておりますので、皆様方の忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

○議 事

- 1）「第7回推進協議会における主な意見と対応方針について」
 - 2）「富山駅駅前広場・交通広場計画の再検討結果について」
- 【 事 務 局 】 （資料説明 資料－1、資料－2）

【 委 員 】 (タクシー協会資料説明)

<発言要旨>

- ・前回の協議会において、バスとタクシーの混在を避け、かつ駅前中央交差点の負荷も軽減、交通の安全が確保される案として、西口タクシー乗り場一本化案を提案。
- ・一本化案について、土地使用料や整備費用等は、タクシー協会が負担しなければならないこと、また、新幹線開業から高架事業完了までの期間においては、富山駅南口駅舎前の広場の利用が困難ということを指摘され、現段階においては、協会としてこの案は無理との認識である。
- ・協会としては、南口と北口のタクシープール、西口においてショットガン用として検討されていたタクシープール約 40 台分合わせて、駅周辺で 75 台程度の確保をお願いしたい。
- ・駅や空港、病院等に分散している個人や新規のタクシー事業者が、駅周辺道路に相当量集中することで、駅周辺で混雑や渋滞が発生することを心配。
- ・タクシーについては、駅だけでなく市内全体の待機所ということも含めて検討して欲しい。

【 座 長 】 富山のタクシーの営業規模は何台くらいになるのか。そのうち法人タクシーと個人タクシーはどんな割合になっているのか。

【 委 員 】 旧富山市ということだと 500 台、個人タクシーが 88 台、新規の事業者が 80 数台である。新規事業者や個人タクシーは駅広、空港、病院といったところしか行き場所がないというのが現実である。

【 委 員 】 駅前広場については、前提条件として、駅前に分散しているバス停を、広場に集約することにあると思うが、これは、事業者やバス利用者にとっては、駅やタクシー乗り場に近くなり大変ありがたい。しかし、これが本当に現実問題として可能なのかが見えてこない。現在、供用のバスターミナルには約 350 台のバスが出入りしており、全てのバスを収容すれば、ターミナルの中には 1 日に 1000 台以上のバスが入ってくることになることから、駅東交差点では 2000 台のバスが出入りすることになるので、交差点での運行台数が大きく変わることになる。ターミナル化によって右折動線も多くなる。その上で、タクシーも収容され、新たに横断歩道も設置されれば、交差点での処理は大変難しい。また、中央交差点では、LRT の右左折が、1 日 470 から 480 本と想定されるので、その負荷は駅東交差点にも影響するだろう。そのためにも、実際に供用が可能なのか、関係者の実務担当者で早急にしっかりと検討し、本当によい姿を決めるべきではないかと思う。

【 座 長 】 どうして、収容するバスの台数が増えるのか。

【 委 員 】 今、駅周辺では、降車場がターミナルに入らずに運行しており、1 番、2 番、地鉄ビル前乗り場、14 番、15 番乗り場等については、ターミナルに入っていない。これらを集約して、駅前広場に収容すれば先ほどの台数になる。

【 委 員 】 横断歩道が、図面上に表示されているがいろいろ問題がある。バスをすべて集約すれば、右折して入るバスと横断歩行者との交差等の問題も生じると思う。また、信号機については、現在、路面電車優先になっており、路面電車を感知する

と、決められたサイクルが変わるので、仮広場から出てくるバス等の渋滞になっていると思う。仮広場オープン当初は、多くの苦情が寄せられた。ただし、今は皆さん慣れてきて道路を選んでいるのか、さほどではなくなっている。将来、LRT が南北接続になり、三方向になれば、信号交差点も増えることになり、現状においては、交通処理が出来るか不安である。サイクルが変わると、元に戻るのに3サイクルかかるが、現状では3サイクル前に、また路面電車を感知するので非常に難しい状況にある。バスの全てをターミナルに入れるのか、あらためて検討が必要であると考えている。

【 委 員 】 皆様が、全体のコンセプトを守った上で、いろいろな問題を解決していこうと前向きな姿勢で議論がされており、大変すばらしいと思っている。駅前広場は、どうしても混雑や交錯は発生するので、何を優先にするのかを念頭に考えていくべきだと思う。駅前広場は、そのまちの顔、にぎわい、魅力であり、そのにぎわいや魅力を感じさせてくれるのは歩行者であるので、歩行者を中心とした発想が重視されるべきだろう。狭い空間を多くの人々が利用するためには、効率的な交通機関である公共交通を重視して、問題の解決を図っていくべきだと考えている。

【 座 長 】 今の議論は、すぐに解決できる問題ではないので、実際に試行錯誤しながら良い解決策をみつけていくべきだと思う。今回は、今後、関係する方々で協議を進め、よりよい解決策を検討していくということとめておきたい。世論や状況、車で移動するライフスタイルや価値観もその時によって変わってくるので、実現までに、決めておくべきことと、とめておいてもよいことを整理しながら、具体的な解決に向けて協議を進めて行くとよいと思う。次の議題に移りたいと思うが、どうか。

【 委 員 】 何が優先順位かという話があったが、LRT の南北連結が、最優先課題なのかどうかということでは、だいぶ違ってくると思う。最優先課題として、LRT の南北連結は、動かないところなのだろうか。

【 座 長 】 LRT の南北連結が、もし出来たなら、今までにない交通結節の場所として、日本中から注目されるケースになると思う。しかし、事業者等の考え方もあるので、実現出来るかはわからない。それは前提として考えられるが、最優先の課題であるとは言えないと思う。

【 委 員 】 南北連結は、警察との協議や、運営主体をどうするかというような、いろいろなハードルもあるが、軌道の幅は同じなので技術的には難しくないこともあり、安全面や運営主体等も含めて可能性を追求してみることができると考えている。富山市としては、公共交通を重視したコンパクトシティを、全国を引っ張って、他の都市が真似したいと思うような最先端のモデルで作っていきたいと考えており、可能性を追求しているということでご理解いただきたい。また、どのように出来るかはこれから皆さんと協議をしていきたい。

【 座 長 】 特にご意見がなければ、次の「駅舎のデザインについて」の議事に移りたい。

3) 「駅舎デザインについて」

- 【 委 員 】 （資料説明 資料—3）
- 【 座 長 】 実施設計ではどのようになるか。
- 【 委 員 】 現在、窓の位置や大きさ等も含めて検討をしている。JR 西日本の保守関係などいろいろな要素が関係しているので総合的に検討しているところである。
- 【 座 長 】 資料—3 右頁の図に描かれているのは南側であるが、北側のイメージは見られるか。
- 【 委 員 】 今回は、資料として提出していない。
- 【 座 長 】 実施設計段階まで至ったら、北側のイメージを市民や県民の方にこういうイメージであると見せるのが良いと思う。
- 【 委 員 】 北側についても、検討委員会で南側と同様に整合が取れたデザインで決まっており、JR 西日本、県と一緒に詰めている段階である。イメージをお見せ出来る段階が来たら、内装等も含めてご覧頂きたいと思う。
- 【 委 員 】 資料に描かれているようなたくさんの木立を植えるスペースがあるのか。また、自動車のスペースも本当にこれだけあるのか。
- 【 座 長 】 木立については、植栽の時期や事業費等との関係もあり、オープンする時にこのようなイメージなるのか、10 年後になるのかということがある。自動車のスペースは、あると考えられる。
- 【 委 員 】 図面は正面から見たところだが、上から見るとどのような感じか。全体に屋根があるのか。
- 【 委 員 】 全面に屋根が架かる。ホーム上に四つに分れている柱を木立に見立て、ホームに光が落ちるようなトップライトを随所に設けたいと考えている。
- 【 委 員 】 “立山あおぎ、心ときめく、光の舞台“を、屋根を架けてもきちんと実現していただきたい。屋根のある金沢駅や福井駅では、工夫はされているが暗いように思えるので、しっかりと検討をしてもらいたい。
- 【 委 員 】 検討委員会でなされた提案の趣旨にのっとり、コストの制約こそあるが、精一杯演出が出来るように努力したい。
- 【 委 員 】 駅舎のデザイン会議では、ガラス面積の取り扱いや、トップライトの光量やバリアフリーの問題等のいくつかの要望が議論され、重要な要望を整理できている。要望として掲げられたものについては、検討していただき実現できるように取り組んでももらいたい。
- 【 委 員 】 先ほどの、図中の木立や自動車のスペースの件について補足したい。南側は、現在の建物がなくなり、現在、新幹線の工事をしているところが南面となるので、計画案は現状より奥行きが深くなるので、先ほどの指摘は正しい感覚かと思う。
- 【 座 長 】 特にご意見等がなければ、4 番目の議題に移りたいと思う。

4) 「富山駅高架下自由通路における空間づくりの方向性について」

- 【 事 務 局 】 （資料説明 資料—4）
- 【 座 長 】 資料—4 6 頁の模型写真①「在来線側から新幹線側を望む」に写っている部分の天井高はどのくらいか。
- 【 事 務 局 】 約 5.5m である。この会場の天井高がおよそ 2.5m だと思うので、ここの 2 倍強

である。

- 【座長】 この会場の天井高の2倍強が在来線側の天井高で、3倍が新幹線側の天井高にあたるということで理解した。
- 【委員】 前回までは何となく物をおかない空間となっていたが、資料では、LRTがラチから見え、中二階デッキでは、流動的な利用ができており非常によく検討がされていると思う。案内所や待合スペースの配置については、LRTに近いスパンで、ラチからストレートに正面が見える東西自由通路に面した角のあたりや、東西自由通路を挟んで北側のスペースを検討してみてもと思う。イベントスペースは、非常に良いと思っている。イベントスペースは、プロモートする組織や人材がいないと、機能させるのがなかなかむずかしいこともあると思う。
- 【座長】 富山はグランプラザというイベント広場があり、日程が埋まっている実績もあるので、プロモートする人たちがいると思う。他に、案内所等の配置について何かご意見はあるか。
- 【事務局】 ご指摘いただいたところは、同じく重要なポイントと考えており、総合案内等の機能を整備できないかと考えている。検討を深めて、皆様の意見も聞かせていただけたらと思っている。
- 【委員】 駅前広場の歩行者空間と高架下の自由通路を有機的に使えるようにしてほしい。
- 【事務局】 自由通路では、駅前広場と一体的に利用したイベントがいろいろ想定されると思う。場合によっては、広場まで広がって利用するような大きなイベントも今後必要になると思うので、広場と自由通路を上手に使っていきたくて考えている。
- 【委員】 自由通路のイベント空間については、在来線と新幹線の改札口前はそれぞれラチ外コンコースという位置づけとして認識していただき、ここは、乗換えのための空間でもあり、乗換等のサイン等の整備も必要であるということをご理解をいただきたい。また、鉄道側として、資料—4 8頁の平常時では、自由通路の真ん中のスパンが、メインの動線という位置付けで考えている。
- 【委員】 サインは高さや大きさ、色等、全体として統一感のあるものに調整させていただきたい。また、そういう場を設けて、併せてサイン計画も検討させていただきたい。
- 【委員】 駅のコンコースの部分は、人がスムーズに移動できる空間であると同時に、佇み、淀みがある出会いの場でもあり、見通しが必要だが賑わった雰囲気も必要とされる、矛盾する空間だが、これらが両立すると、駅空間として魅力的になると思う。資料にある5つのフェーズなど、求めるものに対して、具体的な要素の整理が出来てきたので、今後は、鉄道側と都市側で、サインや、ラチ外コンコースの使い方や、所有区分や運営管理などの具体的な検討、協議を進めてほしい。また、中二階などの中間スペースを上手く活用して、賑わいの空間が演出できるとよいと思う。富山の場合は、中二階に人を上げる目的を見つけるのが難しいが、その点も十分に検討し魅力的な中二階を作れると良いと思う。
- 【委員】 空間の広さと見通しが配慮されていてよい案だと思う。今後は、さびしい印象にならないような見せ方の工夫が必要になるかと思う。全体として、西側を向いたレイアウトになっているので、地鉄との動線などの関係も検討が必要になると

思う。

- 【 委 員 】 乗換え情報や観光案内、東西自由通路にある店の案内等の情報を提供する、わかりやすく、目に付き易い総合案内所の整備を検討してほしい。
- 【 委 員 】 今日は、前半で、コンパクトな空間での交通処理について、積極的な議論が出来たことで、後半では、他の都市に対して誇れるような、豊かで賑わいのある空間が出来そうなところまで議論が進めたと思っている。また、駅利用者以外にも、イベントに参加する人が来ることで、交通事業者にもメリットが及んでくることになると思う。今後の議論の進め方としては、基本的なコンセプトを大切にし、今日の前半と後半の議論を結び付けながら進めていくのが良いと思う。今後も皆様に積極的な議論をお願いしたい。
- 【 座 長 】 蛇足的質問だが、東西自由通路のところにある権原は中央に引かれているのか。
- 【 事 務 局 】 事業者間で協議をされているということで、お聞きしている。
- 【 委 員 】 資料—2 7頁にもある富山駅南口仮広場部分についてだが、ここは駅の正面であり、過去の協議会の中でも色々提案等もなされているところだが、今後、新幹線開業時には、どのような形で使われるのか議論を始めても良いと思う。
- 【 座 長 】 特にご意見等がなければ、これで本日の協議会を終わりにしたい。今後も関係者間で協議を行い、実現に向けて皆さまの一層のご協力をお願いしたい。
- 【 事 務 局 】 次回協議会の日程については、詳細が決まり次第、事務局より案内したい。

以上